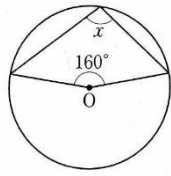


本単元でよく見られる生徒のつまずき

右の図の $\angle x$ の大きさを求めなさい。  
誤答例： $\angle x = 80^\circ$



円周角と中心角の関係が正しく理解できず、与えられた中心角を半分にしただけで円周角が求められたと勘違いしてしまう。

授業での指導の工夫

【本時の目標】円周角の定理を利用して角の大きさを求めることができるようにする。

【導入で課題を明確化】

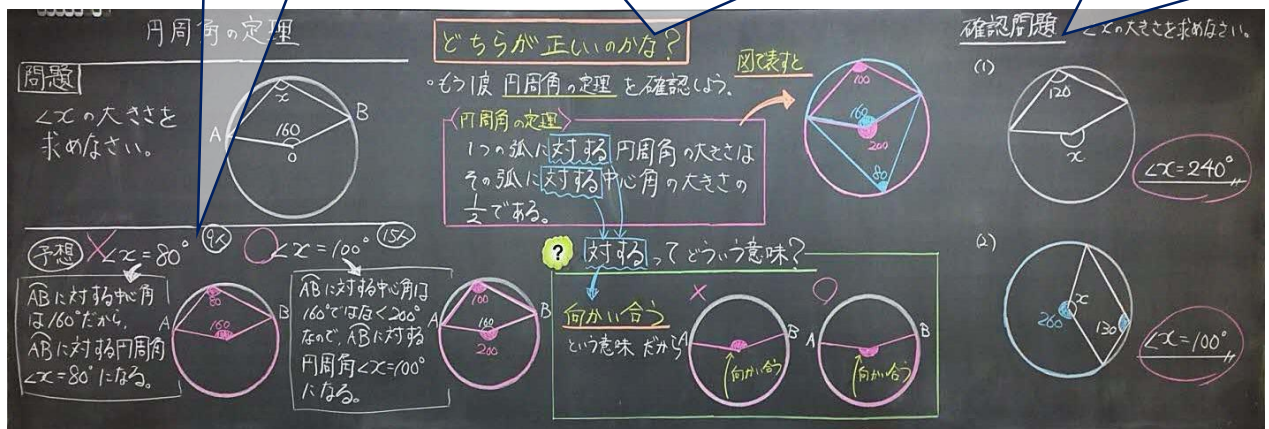
・誤答が多い問題を提示し、考え方の違いを確認することで、本時の課題を明確にできるようにします。

【展開で意見を練り上げて課題を解決】

・対話を通じて自分の考えを他者に伝えながら課題を解決できるよう、ペアやグループで話し合う場面を設定します。

【終末で内容の習得を確認】

・教師が指導を改善したり、生徒が自分自身の学習状況を自覚したりできるよう、確認問題を提示し、理解の状況を把握できるようにします。



中心角が $160^\circ$ だから円周角の定理を使って $\angle x$ は $80^\circ$ になるはずだ。



もう一度、円周角の定理を確認したらいいと思います。



あれ？中心角と円周角の向きが違うような気がするけど。



弧に対するの『対する』とはどういう意味だったか覚えていますか？



2つの考え方が出されましたが、どちらが正しいのかな？



「向かい合う」という意味なので正しいのは $\angle x = 100^\circ$ の方だと思います。



授業づくりで大切にしたいこと

- 生徒が必要感をもって定理の意味を振り返る場面の設定
- 個人思考の後の集団思考において、互いの考えを比較しながら課題を解決する学習活動の設定